

2月26日(火)9時00分からCRTで収録

## CRT『開倫塾の時間』放送開始38周年記念番組

37年間にわたって放送をお聞きいただきありがとうございます。心から感謝いたします。この「開倫塾の時間」は、第1回目から一貫して放送をお聞きの皆様とごいっしょに、効果の上がる学習方法(勉強の仕方)を考える番組です。本日は、放送開始38周年目の記念すべき放送です。私が37年間おすすめしている「効果の上がる学習方法」を1つにまとめた、「学習の3段階理論」についてお話いたします。

## 効果の上がる学習の仕方「学習の3段階理論」を身に着けよう

—「学習効果」＝「十分な学習時間」×「効果の上がる学習方法」×「読解力」—

開倫塾

塾長 林明夫

## &lt;はじめに&gt;

本日3月2日の放送で、この「開倫塾の時間」は38年目に入ります。今日の放送は第1925回目となります。

Q <学習の3段階理論>開倫塾の時間では、「効果の上がる学習の仕方」として「学習の3段階理論」をおすすめしているようですが、どのようなものですか。

- A (1)私は、学習(勉強)を、「理解」「定着」「応用」の「3つの段階(ステップ)」に分け、それぞれの「段階(ステップ)」にふさわしい学習(勉強)の仕方を具体的に考えました。
- (2)それが、以前から一貫しておすすめしている「学習の3段階理論」です。
- (3)これは、塾長である私が、開倫塾創業以来考え、まとめ上げた開倫塾独自の理論です。ぜひこの放送資料をじっくり読んで、少しずつでもOKですから身に着けてください。

Q 第1段階の「理解」とは何ですか。

A 「理解」とは、「うん、なるほど」とよくわかることです。「理解」には、次の3つの場面があります。



(1)「予習」での「理解」

- ①初めて学ぶことは、授業の前に一度ゆっくり声を出して読んで「予習」、何が書いてあるかを知る。

②意味のわからない語句があったら、「気持ちが悪い」と考え、辞書で調べる。

③計算や問題はノートに解く。

## (2)「授業」での「理解」

①手を机の上に置き、先生の日を見て、お話を一語一語しっかり聞く。

②大切なことは、ノートにしっかりメモ。繰り返し読み、覚える。

③遅刻、欠席、早退をしない。おしゃべりや居眠りをしない。これらは、理解を著しく妨げるからです。



## (3)「復習」での「理解」

①学んだことを、もう一度学び直し、「理解」を深めるのが「復習」。

②教科書やノートをしっかり読み直す。

③計算や問題は、もう一度解き直す。

\*「復習」すると、学んだことが「うん、なるほど」とよくわかり、「理解」が進みます。ですから、必ず「復習」を。



## Q 第2段階の「定着」とは何ですか。

A 「定着」とは、一度「うん、なるほど」と「理解」したことを、すべてスミからスミまで正確に身に着けることです。「定着」には、次の3つの練習が有効です。私は、この3つの練習を「定着のための3大練習」と名付けました。



### (1)「音読練習」

①スラスラとよく読めるようになるまで、大きな声を出して読む練習をする。

②大切なことは、何も見ないでいえるまでにする。

③これを、「暗誦(あんしょう)」といいます。(「暗唱」とも)

### (2)「書き取り練習」

①よく書けなそうな語句は、筆順も含めて、正確に書けるまで、繰り返し書く練習をする。

②鉛筆やノート、紙がなければ、手の平に書く練習をする。

\*手で、空に向かって書く練習をする。

③きれいな文字で書く練習をする。「硬筆習字」も大切です。



### (3)「計算・問題練習」

①一度解き、なぜそのような解答になるかがよく「理解」できた計算や問題は、同じものを何回も解き直し、条件反射で正解が出るまで練習をする。

②「 $2 \times 3 = 6$ 」のように、パッパッパッと正解が出るまでにする。

③大切な計算や問題ほど、この練習を繰り返してくださいね。

\*「練習は不可能を可能にする」。この「定着のための3大練習」は、不可能を可能にします。学力を身に着けるのに絶大な威力を発揮します。ぜひ挑戦を。



Q 第3段階の「応用」とは何ですか。

A 「応用」とは、「理解」「定着」したことを「活用すること」、「役立てること」です。「応用」には、「理解」「定着」させたことを「テストで役立てる」と「社会で役立てる」という2つの場面があります。

(1) <テストで役立てる>

①これは、「理解」「定着」したことを用いて、「テストでよい点数(定期テストでは100点満点、入学試験や資格試験では合格点)を取る」ことです。

②それに役立つのが、試験で過去に出た問題(過去問)や「予想問題」を何回も、できれば5～6回以上解いてみることです。

③「間違いノート」や「まとめノート」を作ることもおすすめです。



(2) <社会で役立てる>

①社会に出てからが本当の勉強です。

②仕事や社会的活動をするために、よく生きるために、人生を充実させるために、「理解」「定着」させたことを役立ててください。

③そのために、学校で学習した教科書や教材、辞書、ノート、自学自習した本は、決して処分しないこと。「宝物」のように大切にし、一生涯、身近に置いて、繰り返し学び直しましょう。

Q 最後にお聞きします。人は、何のために学ぶのでしょうか。

A (1)第1は、「多様な選択肢のある人生を歩む」ためです。人は、「自覚」を持ち、「自分から進んで、主体的に学べば学ぶ」ほど、「多様な選択肢のある人生を歩む」ことができます。

(2)第2は、「正常に機能する社会の形成に貢献する」ためです。

(3)また、「自律」に向けた「自信」を育て、「経験」したことを、大切な、「価値」あるものと「自己評価」すれば、充実した人生を歩むことができます。



ではがんばって!!